

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成20年9月11日(2008.9.11)

【公開番号】特開2008-71346(P2008-71346A)

【公開日】平成20年3月27日(2008.3.27)

【年通号数】公開・登録公報2008-012

【出願番号】特願2007-233488(P2007-233488)

【国際特許分類】

G 06 F 3/12 (2006.01)

B 41 J 29/38 (2006.01)

H 04 N 1/00 (2006.01)

【F I】

G 06 F 3/12 C

G 06 F 3/12 D

G 06 F 3/12 K

B 41 J 29/38 Z

H 04 N 1/00 107 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月28日(2008.7.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ホスト装置と、出力装置とを有する画像処理システムにおいて、

前記ホスト装置が、前記画像データを少なくともグラフィック、イメージを含む複数種類の画像種別データに分類し、

前記ホスト装置の処理能力及び前記出力装置の処理能力に応じて、分類した前記画像種別データを種類毎に前記ホスト装置又は前記出力装置のいずれかで処理するかを決定する処理分散手段を有することを特徴とする画像処理システム。

【請求項2】

前記ホスト装置が前記出力装置の処理能力を取得する処理能力取得手段を有する請求項1記載の画像処理システム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】画像処理システム

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は画像処理システムに関し、特に画像データに対する処理をホスト装置側又は出

力装置側のいずれで行う際の選択を適切に行い高速化を図る画像処理システムに関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

本発明はこれらの問題点を解決するためのものであり、処理能力、転送能力に応じて処理配分と転送量を最適化し、画像データの処理にかかる時間を最小にすることで高速に処理することができる画像処理システムを提供することを目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

前記問題点を解決するために、本発明の画像処理システムは、ホスト装置と、出力装置とを有している。そして、ホスト装置が、画像データを少なくともグラフィック、イメージを含む複数種類の画像種別データに分類し、ホスト装置の処理能力及び出力装置の処理能力に応じて、分類した画像種別データを種類毎にホスト装置又は出力装置のいずれかで処理するかを決定する処理分散手段を有することに特徴がある。よって、処理量を適切に分散でき、出力処理の効率化を図ることが可能となる。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

また、ホスト装置が出力装置の処理能力を取得する処理能力取得手段を有することにより、出力装置の処理能力を動的に問い合わせることで予め出力装置の処理能力を保持する必要もなく、かつ出力装置が新規に追加、又は変更された場合でもホスト装置側の変更を必要としない汎用性の高い画像処理システムを提供できる。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の画像処理システムは、ホスト装置と、出力装置とを有している。そして、ホスト装置が、画像データを少なくともグラフィック、イメージを含む複数種類の画像種別デ

ータに分類し、ホスト装置の処理能力及び出力装置の処理能力に応じて、分類した画像種別データを種類毎にホスト装置又は出力装置のいずれかで処理するかを決定する処理分散手段を有している。よって、処理量を適切に分散でき、出力処理の効率化を図ることが可能となる。